

JRCA 2013年第5回理事会 議事録

2013年12月18日(水) / 文京区男女平等センター 研修室C 17時半から

出席者：長瀬、中原、新井、佐藤、小西、中島、染宮、奥村、富田

1：第8戦ハイランド、第9戦新城の報告

この2戦に限ったことではなく、全体的な課題として。

- ・リエゾンでのヘルメット装着者がいることにより、一部沿道住民の目に、暴走行為中というイメージを与えてしまっており、改善を考えたい。
- ・ローカルルールのようなものが、いまだに散在しており、一日も早いルールの統一運用が望まれる。

2：2013年10-11月収支報告

問題がなかったことが監査報告により報告され、承認された。

10-11月収支報告

収入		支出	
前期繰越 預金	1655392	前期未払金	0
個人会員会費	15000	JRCA Video 制作費	160000
団体会員会費	0	ホームページ運営費	63000
Gyao 収益	1608	JRC レポート原稿料	31500
物品販売		事務局費 10/11月分	63000
広告収入	73	通信費(発送費)	
		慶弔費	10500
		メディア事前情報/結果速報	60000
		振込手数料	1890
計	16681	計	389890
トータル収入-支出			-373209
通帳残高 前期繰越+収入-支出			1282183

現金の部

前期繰越 現金	2939
使用なし	0
残額	2939

また、収支報告に際し、来年のJRCガイドブック制作の必要性が確認された。

3：JRCA公式携帯サイトの継続審議

現状ホームページの情報はスマートフォン等で見ることができ、課金を募るためのさらなる労力および経費のバランスも考慮すると、コンテンツ等、アイデアを出して練っていく必

要がある。また、課金携帯サイト以前に、現ホームページの充実を図りたいという意見も出された。このため、課金携帯サイトに関しては、今後も継続審議することとなった。

4：来年の主催者意見交換会の議題

全日本ラリー選手権主催者意見交換会の意義は非常に大きいことが確認された。J A F主催の主催者会議日程が未定のため、日程を決めることはできないが、2014 年も開催することとなった。

開催に伴い、各主催者から J R C A に対してどんな協力が必要とされているのかを議題として取り上げることとなった。各ラリーが持ち回りで使えるような物や人材等、提案をもらい、検討したい。

5：モータースポーツ基本法関連

11月17日付の東京中日スポーツ新聞に掲載された「モータースポーツ振興基本法」に関して、ラリーの要素も取り入れてもらえるよう、働きかけをすることとなった。内容に関しては早急に審議することとなった。

6：CROについて

CROという存在はかなり定着してきているが、その役割や、どういう人物が適しているかなど、CROに関する詳細な説明やルールは存在していない。ルールとまではいなくても、推奨されるべき項目等、整備が必要ではないかという意見が提出された。以前、救急救命推進の際に医師の派遣を行ったが、CROのJ R C Aからの派遣を考えてもいいのではないかという意見が出され、検討することとなった。

7：リタイア対処法の周知徹底について

リタイアして道を塞いでしまった際の、後続車の対応を決める必要があるのではないかと意見が出された。リタイアした当該クルーが行う措置はラリー競技開催規定に掲載されている通りだが、道を塞いでからの後続車数台は全開で走行してくるものと思われ、通行不可能と判断した後続車のクルーたちの安全も考慮すると、何らかの共通した表示行為を考える必要があるのではないかと意見が出た。これに伴い、スタートでクルーにインフォメーションを与える際の、主催者側の迅速な判断も必要という意見も出された。

8：テクニカルデリゲートの制度化について

WRC等では当たり前になっているテクニカルデリゲートの派遣制度だが、議題1でも提案されているとおり、ローカルルールの減少を目指すうえでも、全日本に関するテクニカルデリゲート派遣制度を導入する事が望ましいとの意見が出された。これはJ A Fの予算の間

題もあると思われるが、何らかの形でJ A Fに要望を出すこととなった。

9：新規賞典の検討

J R C Aでは毎年アワードを設定して授与しているが、アワードを含めた賞典のより効果的な基準ならびに授与方法を検討することとなった。

10：その他

・新城ラリーにおいて、国家公安委員長より表彰状がJ N 4の優勝クルーに授与された。これを全日本ラリー全般に授与できないか、検討することとなった。

・松井悠理事より、体調不良のため理事辞任の届けがあり、受理された。

・J R Cガイドブックの表紙に関し、もう少しメーカー色を薄くできないか、という提案がなされた。いろいろなイベントで配りたいという要望があるが、メーカー色の度合いにより、配りにくいイベントも出ているとの話もあり、来年制作の表紙に関して、考慮することとなった。

・Jスポーツで新城ラリーの報道を行ったところ、好評を得たという。全日本ラリーのテレビ放映に関し、J R C Aとしてどのような協力ができるか、精査していくこととなった。

11：次回会議予定

1月22日を第1候補とし、日程を調整することとなった。